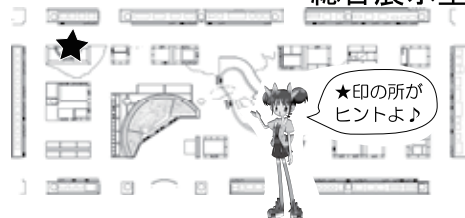


**32** 軽便 (ケービン) 鉄道のたび



1914年から1945年まで、沖縄には鉄道が走っていました。  
 線路の幅が日本本土の鉄道（きょうき狭軌）より少しせまかったため、けいべんてつどう軽便鉄道  
 （沖縄の方言ではケービン）と呼ばれていました。

1. 今日（けふ）は糸満駅（いとまん）から嘉手納駅（かてな）までケービン鉄道にのって旅をしてみましょう。  
 糸満駅（しゅっぱつ）を出発する列車（きかんしゃ）の機関車は下のア～ウのどれか。  
 また、嘉手納駅（とうちやく）に到着する列車の機関車はア～ウのどれか。  
 答えよう。



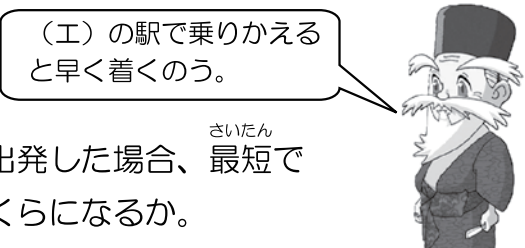
●糸満駅を出発する機関車      ●嘉手納駅に到着する機関車  
 答え (      ) (      )

2. 下の表は、糸満線と嘉手納線の有人駅（ゆうじんえき駅員さんのいる駅）の時刻表です。  
 時刻表の中の(工)にあてはまる駅の名前を書こう。

<small>いとまん</small> 糸満 発	<small>たかみね</small> 高嶺	<small>こちんだ</small> 東風平	<small>いなみね</small> 稲嶺	<small>こくぼ</small> 国場	(工)	<small>なは</small> 那覇 着
糸満からの運賃	6銭	13銭	18銭	29銭	34銭	36銭
12時51分	→ 13時05分	→ 13時20分	→ 13時32分	→ 13時57分	→ 14時08分	→ 14時12分
15時17分	→ 15時31分	→ 15時46分	→ 15時58分	→ 16時25分	→ 16時37分	→ 16時41分
17時12分	→ 17時26分	→ 17時41分	→ 17時53分	→ 18時19分	→ 18時30分	→ 18時36分

<small>なは</small> 那覇 発	<small>こほぐら</small> 古波蔵	<small>あさと</small> 安里	<small>ぐすくま</small> 城間	<small>おおやま</small> 大山	<small>くわえ</small> 桑江	<small>かてな</small> 嘉手納 着
那覇からの運賃	4銭	8銭	17銭	28銭	34銭	45銭
14時22分	→ 14時29分	→ 14時40分	→ 14時58分	→ 15時22分	→ 15時35分	→ 15時55分
16時32分	→ 16時39分	→ 16時50分	→ 17時08分	→ 17時32分	→ 17時45分	→ 18時05分
18時46分	→ 18時53分	→ 19時04分	→ 19時22分	→ 19時46分	→ 19時59分	→ 20時19分

答え 工 \_\_\_\_\_



3. 糸満駅を15時17分に出発する列車にのって出発した場合、最短で  
 嘉手納駅には何時何分に着くか。また、運賃はいくらになるか。

答え 到着時刻 \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分 運賃 \_\_\_\_\_銭

4. 軽便鉄道はなぜなくなってしまったのでしょうか。  
 (      )

琉球・沖縄 日本

- 旧石器時代
- 縄文時代
- 弥生時代
- 古墳時代
- 飛鳥時代
- 奈良時代
- 平安時代
- 鎌倉時代
- 南北朝
- 室町時代
- 戦国時代
- 安土・桃山時代
- 江戸時代
- 明治
- 大正
- 昭和
- 平成